

別記様式第6号

産地技術導入支援事業（新技術導入広域推進事業）に関する事業評価票

事業実施主体名	新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成 24 年	目標年 平成 28 年	目標値	達成率		
滋賀県	滋賀県育成水稲新品種「みずかがみ」の導入・普及	25年度	水稲新品種「みずかがみ」の作付面積の増加	4ha	2299ha	2000ha	115%	左記の目標のために以下の取組を行った。 ・実証展示ほ設置等検討会の開催 ・現地検討会等の開催 ・食味分析調査の実施 ・作付推進シンポジウムの開催	成果目標について達成されているので、水稲新品種「みずかがみ」の導入・普及に関して、効果的に事業を実施したと評価できる。
京都府	丹波黒大豆の年内コンバイン収穫技術の導入・普及による産地拡大	25年度	コンバイン年内収穫技術を導入した黒大豆作付面積	0.5 ha	4.6 ha	6 ha	75%	左記の目標のために以下の取組を行った。 ・実証展示ほ設置 ・現地検討会の開催 ・先進地視察 ・技術マニュアルの作成	本技術を導入した黒大豆作付面積は増加しているものの、国営農地再編整備事業の工期遅延により成果目標は達成されていない。本技術導入地区においては、H30年度に上記事業完了が見込まれることから、事業完了後、対象となる法人への本技術の導入・普及を図ることを含んだ改善計画を提出させる。
京都府	ブドウ新品種「シャインマスカット」の高品質安定生産技術の導入・普及	25年度	①栽培管理技術導入農家数 ②シャインマスカット新規導入農家数（北部）	① 0 戸 ② 0 戸	① 46 戸 ② 23 戸	① 30 戸 ② 10 戸	① 153 % ② 230 %	左記の目標のために以下の取組を行った。 ・「シャインマスカット」京都府における販売規格の策定 ・販売規格に応じた栽培管理技術の確立 ・果実品質検討会の開催 ・栽培促進用パンフレット作成	成果目標については、①②ともに達成されている。ブドウ新品種「シャインマスカット」の高品質安定生産技術の導入・普及について、効果的に事業が実施されたものと評価できる。

事業実施主体名	新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成 24 年	目標年 平成 28 年	目標値	達成率		
京都府	丹波黒大豆の土壌改善を図り、収量性を向上させるマメ科緑肥の利用と普及	25年度	①ヘアリーベッチ栽培・すき込み面積 ②ヘアリーベッチすき込みによる収量性（慣行比）	① 0 ha ② - %	① 6.5 ha ② 100 %	① 10 ha ② 120 %	① 65 % ② 83 %	左記の目標のため以下の取組を行った。 ・実証展示は設置検討会の開催 ・現地検討会の開催 ・技術マニュアルの作成 ・成績検討会の開催	本技術の導入により排水対策は高評価であったが、すき込み面積、収量性について、成果目標は達成されていない。病害虫対策の徹底等を含む課題解決に向けた改善計画を提出させる。
兵庫県	低温発酵肥料の導入・普及による有機農業の低コスト省力化	25年度	低温発酵肥料を導入した水稻作付面積の増加	0 ha	58 ha	70 ha	83%	左記の目標のため以下の取組を行った。 ・試験ほの設置 ・現地検討会の開催 ・先進地視察 ・水稻栽培こよみの作成	低温発酵肥料を導入した水稻作付面積は増加しているものの、成果目標は達成されていない。肥料生産体制の強化に向けた取組を含んだ改善計画を提出させる。
奈良県	茶の高品質多収性有望品種「さえあかり」の導入による経営安定	25年度	「さえあかり」の栽培面積の拡大	0 ha	0.823 ha	0.8 ha	103%	左記の目標のため以下の取組を行った。 ・技術導入検討会の開催 ・実需者ニーズの調査 ・現地実証展示圃の開設 ・技術導入効果の分析・評価	成果目標について達成されており、本事業について効果的に実施されたものと評価できる。
奈良県	小麦「ふくはるか」の安定的高品質生産	25年度	小麦「ふくはるか」の導入による栽培面積の拡大	0 ha	104.9 ha	120 ha	87%	左記の目標のため以下の取組を行った。 ・生育調査圃の設置 ・現地検討会の開催 ・品質・食味及び加工適性の評価 ・生産マニュアルの作成	「ふくはるか」の栽培面積の達成率は87%であり、H29年度はさらに拡大し、115haと96%に達する見込みであることから、ほぼ目標は達成していると判断される。

事業実施主体名	新技術の内容	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容	成果目標の達成状況				具体的な取組内容	地方農政局長等の意見
				基準年 (計画策定時) 平成 23 年	目標年 平成 28 年	目標値	達成率		
奈良県	土着天敵を利用した夏秋ナスの減農薬栽培	25年度	減農薬防除体系の導入による殺虫剤成分回数の低減実施圃場面積の拡大	0.2 ha	3.05 ha	5.0 ha	59%	<p>左記の目標のため以下の取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実証展示圃の設置 ・技術導入講習会の開催 ・先進地視察 ・現地実証圃における調査及び巡回指導 	減農薬防除体系を導入した殺虫剤成分回数の低減実施圃場の面積は拡大しているものの、成果目標は達成されていない。土着天敵利用の有効性の啓発を含んだ改善計画を提出させる。